

心臓エコー検査

エコー検査とは、超音波を用いて体の内部を観察する検査方法です。

心臓エコー検査について、行う目的は二つあります。

ひとつは心臓の形の異常を発見する形態的診断、もう一つは心臓の働きを見る機能的診断です。特に心臓は常に拍動していますが、その動いている状態をそのまま観察でき、心臓のポンプ機能が正常に働いているかどうか判定することにとっても有用な検査と言えます。

心房や心室の大きさや壁の厚さ、壁の動き、弁の形態や動きなどが分かります。

カラードップラー法を行うと、心臓の中の血液の流れを映し出すことができ、弁の異常による心臓内での血液の逆流などの異常を発見できます。

また、心臓病の診断だけでなく、治療方法の選択、治療効果の判定、手術時期の決定などにも役立ちます。

〈診断可能疾患〉

心不全・心肥大・心拡大・心筋梗塞・弁膜症・左房内血栓・先天性心疾患・心タンポナーデなど

〈方法〉

胸の上から超音波を発するプローブ（探触子）を胸にあて、心臓の状態を調べます。

ベッドに横になっていただき、温めたゼリーを胸部に塗り、検査致しますので、痛みはありませんのでご安心ください。

また検査に際しては、体の左側面を下あるいは斜め下にして横になっていただきます。これは心臓をできるだけ見えやすくするためです。ご協力お願い致します。

〈検査時間〉

10～15分ほどです。

〈メリット〉

メリットは、エコー検査はX線検査とは違い被ばくすることはありません。

胎児にも使えるほど安全で、痛みもなく手間もかかりません。

人工弁やペースメーカーにも影響はありません。

〈注意点〉

○胸を広く出して頂きますので、きつい下着やコルセットなどお腹を締め付けるものは着用せず、胸を見せやすい服装でお越しください。

○検査前後の食事の制限はありません。

ジェネラルクリニック福岡